

## 人間科学部 人間科学科 1年 女性

この度は、村橋・フロンティア奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は母子家庭で、高校生のころ、経済的な面から母には就職を進められてきました。しかし、私自身の大学で専門的なことを学びたいという意思を尊重し、母は進学を認めてくれました。また、地元の北海道からは遠く離れた場所での生活に心配をしつつも“頑張れ”と応援してくれる母には感謝しかありません。恥ずかしいことに、私は母のもとを離れて、ようやく母の偉大さ、有難さに気がつきました。ぶつかることもありました。誰よりも私のことを想い、支えてくれていたということを改めて感じます。今だに母に頼ってばかりですが、少しずつ親孝行をしていけたらいいなと思います。

入学当初は不安なことがたくさんありましたが、大学生活にもすっかりと慣れ、周りを見る余裕ができてきたように感じます。多くの先生方・学生と関わっていくなかで、たくさんの刺激が受けられることを嬉しく思います。日々の授業などで得られるものも大きく、これからの学生生活に夢が膨らむばかりです。おかげさまで、楽しい学生生活を過ごしています。学業に努めることはもちろん、資格の取得や、ボランティア活動など、学校内だけでなく、学校外での活動も積極的に行い、四年間で様々な経験をつんでいこうと思います。大学生として過ごす時間を無駄にしないよう、いろいろなことに進んで挑戦していくつもりです。また、「報恩・感謝・功德」の精神を忘れず、自分も世のため人のために役立つ人材となれるよう、努めていきます。

大学生になってから、改めて自分はたくさんの人に支えられているということを実感します。これからは、奨学生としての自覚を持ち、設立者の村橋三好名誉博士をはじめ、ご支援くださる多くの方々への感謝を忘れずに、これからの学生生活をよりよいものにしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。